

将来の夢に向かって

筑波大学附属小学校 三年 加茂 大希

「ぼくは、電車の運転士になるぞ」。

小さい時のぼくは、毎日この言葉を元気いっぱい大きな声で言っていました。そう、ぼくの将来の夢は、電車の運転士になることです。初めて駅のホームにおり立った時、数字を組み合わせると時刻になるということを時刻表の存在で知り、次に大きな四角い電車が大きな音を立ててホームに到着する姿に、ぼくはすっかり電車の世界のとりこになりました。

ぼくは「新しい形のエネルギーを作って、救急電車を運転したい」です。SDGsでは目標7「エネルギーをみんなに、そしてクリーンに」がかかげられています。

ぼくが大好きな電車では、減速する時に力学的エネルギーを電気エネルギーに変えて、エネルギーをこもりつ良く利用する回生ブレーキという仕組みが使われています。調べてみると、このようなぎじゅつをエネルギーハーベスティングと

よぶことを知りました。

ぼくは、エネルギーのことを考えるために、厚い理科事典で、力学、電気、熱、光などについて勉強しています。理科事典で勉強して、新しい形のエネルギーを作る方法をたくさん考えて、救急電車を運転したいです。

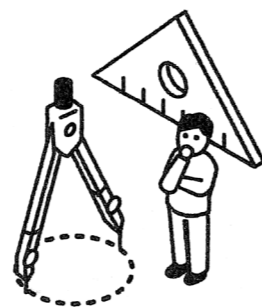
また、エネルギーを計算するために、ふくざつな数や図形の問題を解く力が必要です。そのため、ぼくは、算数オリンピックに取り組んでいます。今年の夏にはファイナル大会に行くことができ、とてもうれしかったです。

これからは、人体についても勉強を始めたいです。救急電車の場合、救急車とくらべて、多くのかん者さんを一度に運ぶことができます。病気やケガがあるかん者さんに何をしたら良いのか、何でも知っていないといけません。人体は、一つの細胞にも仕組みがたくさん備わっていて、これらの細胞が集まって人の体となることに、とてもおどろきました。将来の夢はぼくにとって大きな希望です。

低 ワークシート

33 3年2組 名前 加茂 大希

ゆめのせっ計



自分の好きなこと、やってみたいことから
しょう来のゆめを考えてみよう。

好きなもの・
好きなこと

電車。
理科の実験。
算数の計算。
社会の地いき
研究。

大人になったらやりたい仕事

救急電車の運転士

その仕事でやりたいこと

新しい形のエネルギーを作って、その
エネルギーを活用して、全国の地い
きにあつた医りょうを提供できる救急
電車の運転士になりたい!

ゆめをかなえるために、これからがんばること

小学校

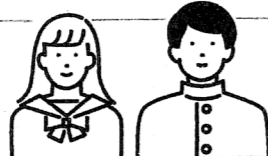
SDGsの17の目
ひょうたつせいのため
に、どんなことをし
たいか、深く考える。
理科、算数の
勉強。

上の学校

電車の運転士の
勉強と医りょうの
勉強の二刀流
を目指す。

大人

新しい形のエネ
ルギーをたくさん作
って、救急電車を運
転し、さい利用で、
エネルギーで車内のか
ん者さんの治りをする。



*こちらは、小学生『夢をかなえる』作文コンクールの「ライフプランシート」としても使えます。